

がわわほんちよう 社協だより

第31号

H26. 7. 10発行



第3回川根本町社会福祉大会を開催しました。



第3回社会福祉大会について

くわしくは2～3ページをごらんください。



フクシ君

「自助」「共助」「公助」精神のもと、
活力ある地域福祉の推進に努めていくことを目指す

．．．目次．．．

．．．お問い合わせ及び発行元．．．

- 2～3P・・・第3回社会福祉大会
- 4P・・・生きがい対応型デイサービスセンターだより・ボランティアの輪
- 5P・・・話し相手ボランティア
- 6P・・・中学生福祉体験学習
- 7P・・・講座のお知らせ
- 8P・・・みどりの丘・みどりの丘まつ
- 9P・・・介護保険によるサービスを利用するには
- 10P・・・平成25年度会費・共同募金実績報告
- 11～13P・・・平成25年度事業報告・決算報告(一般会計)
- 14P・・・平成25年度決算報告、平成26年度予算(特別会計)
- 15～17P・・・平成26年度事業計画・予算報告(一般会計)

社会福祉法人 川根本町社会福祉協議会

＜川根本町福祉センター事務所＞

〒428-0415 川根本町上岸90番地

TEL 59-2315 / FAX 59-4139

メールアドレス(代表) csw-honk@po2.across.or.jp

ホームページ <http://kh-syakyo.com/>

 この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金で作られています。 



みんなで支え合う、

地域をめざして。



感謝状贈呈、表彰状授与

第3回川根本町社会福祉大会が3月26日(水)、川根本町文化会館にて行われました。天候の悪い中での開催でしたが、多くの方にご出席いただきました。

大会では、多年にわたって社会福祉事業の発展に功績のあった31名と1団体に表彰が行われました。

また、大会宣言では、社会福祉関係団体との連携を強化し、「自助」「共助」「公助」の精神のもと、活力ある地域福祉の推進に努めていくことを誓いました。



銭太鼓演奏中の様子



増岡氏による記念講演の様子

式典後、今大会から新しく、アトラクションと題し、みどりの丘えまつの利用者による銭太鼓の演奏が行われました。演奏者には緊張も見られましたが、日頃から練習してきた銭太鼓を披露した後の表情には笑みが浮かんでいました。

記念講演では、俳優の増岡弘氏をお招きし「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」をテーマにお話をいただきました。耳になじんだマスオさんの声は参加者を巻き込み、会場には笑顔があふれていました。

第3回川根本町社会福祉大会 被表彰者紹介

◇川根本町長感謝状贈呈者◇ ※順不同

民生委員児童委員 (20名)

(民生委員児童委員として社会福祉の推進に貢献し、任期満了により退任された方)

*長嶋 勝 様 *波多野かづ枝 様 *上田まり子 様 *大村勝枝 様
 *大村哲男 様 *高橋ひとみ 様 *芹澤弥恵子 様 *堀井智恵子 様
 *千澤文子 様 *大村美也子 様 *小田文善 様 *高本親義 様
 *中尾叡子 様 *酒井久美 様 *池田敏子 様 *小坂鈴代 様
 *西村 學 様 *原田ゆきゑ 様 *太田瑞枝 様 *鈴木なな子 様

◇川根本町社会福祉協議会長被表彰者◇ ※順不同

民生委員児童委員 (5名)

(民生委員児童委員として8年以上在職し、功績顕著である方)

*大村美也子 様 *渥美富夫 様 *大村勝枝 様
 *酒井久美 様 *池田敏子 様

保護司 (2名)

(保護司として8年以上在職し、功績顕著である方)

*高畑雅一 様 *森 博士 様



◇川根本町社会福祉協議会長感謝状贈呈者◇ ※順不同

社会福祉協議会功労者 (4名)

(障がい者世帯等の自立更生者で、他の模範となる方)

*藤中孝幸 様 *澤西友美 様 *芹澤 誠 様 *大石 忠 様

(その他の社会福祉事業の功労者として、当社協会長が認めた方)

*瀧澤新聞店 様

栄えある受賞
 おめでとうございます



川根本町生きがい対応型デイサービスセンターだより

川根本町生きがい対応型デイサービスセンターは、川根本町に3か所〔高齢者生きがいの郷（高郷）、高齢者むつみの郷（瀬平）、老人福祉センター憩の家いずみ（奥泉）〕あります。

いつまでも住みなれた地域で、健康でいきいきとした毎日が過ごせるよう、支援することが目的です。



生きがいの郷(高郷)での様子

介護を必要とする状態にならないよう、積極的に介護予防を行っています。本年より、足腰の筋力低下を防ぐことを目的にノルディックウォーキングを新たに取り入れました。お天気の良い日は外に出て、利用者の皆さんが歩くことを楽しんでいます。また、室内では、クラフト・習字・お茶会・体操・輪投げ・歌やゲームなどのレクリエーションを行っています。

ボランティアの方も来所され、お話会や手芸などを行い、利用者の方々と楽しく過ごしています。

生きがい対応型デイサービスセンターを利用することで、話したり笑ったりして元気に楽しく過ごされるよう、職員一同取り組んでいます。

生きがい対応型デイサービスセンターで、いっしょに活動してみませんか。お待ちしております。



憩の家いずみ(奥泉)での様子

ボランティアの輪（スクラムどんぐり）

川根本町社会福祉協議会では、ボランティア活動をされている団体や、個人を支援する活動を行っています。今回は、小長井地区の智者山にあるお地藏さんの前掛けを作っている「スクラムどんぐり」の活動について、紹介します。

活動を始めたきっかけは、当初、小長井地区に住まれていた女性が、昭和56年に16日間アメリカへ渡り、現地の方にアメリカではどんな女性が立派であるかをたずねたところ、「ボランティア活動をしている女性が立派である」というお話を聞いたことだそうです。帰国後、仲の良い人たち数名が集まり、当時はまだ、ボランティア活動という言葉も普及していない時代でしたが、ボランティア活動を始めようという話がまとまりました。小長井地区の智者山にあるお地藏さんに前掛けを作ろうという話が持ち上がったことが、現在のスクラムどんぐりの活動を始めたきっかけとなっています。現在では、3月と9月の祭りに合わせ、前掛けづくりを行っています。



前掛けづくりの様子(小長井公民館)

平成25年度 川根本町社会福祉協議会決算報告（特別会計）

【事業活動収支計算書】 収益事業特別会計(竹製品共同製作事業) (単位：千円、△＝減)

科目（内訳）	収入の部			支出の部		
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
事業活動	7,563	7,562	△1	2,393	2,260	△133
事業活動外	0	0	0	10,000	9,816	△184
合計	7,563	7,562	△1	12,393	12,076	△317

竹製品共同製作事業(収益事業特別会計)は平成24年度を持って廃止され、平成25年度に中電輸送サービス㈱へ事業移譲を行いました。また道路の拡張整備により、保管倉庫の取り壊しが行われました。収益事業特別会計の余剰金は地域福祉事業費へ繰入を行いました。(単位：千円の概算計上となりますのでご了承願います。)

【資金収支計算書】 就労支援施設特別会計(就労継続支援B型事業 みどりの丘・みどりの丘えまつ) (単位：千円、△＝減)

科目（内訳）	収入の部			支出の部		
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
就労支援事業	3,436	3,121	△315	3,713	3,363	△350
福祉事業	25,178	26,176	998	27,711	25,468	△2,243
財務	0	0	0	600	598	△2
前期末支払資金残高 (繰越金収入)	4,010	14,380	10,370	—	—	—
予備費	—	—	—	600	0	△600
合計	32,624	43,677	11,053	32,624	29,429	△3,195

収支差引残高(決算額)14,248千円は、次年度へ繰越 (単位：千円の概算計上となりますので、ご了承願います。)

平成26年度 川根本町社会福祉協議会予算（特別会計）

【資金収支計算書】 就労支援施設特別会計(就労継続支援B型事業 みどりの丘・みどりの丘えまつ) (単位：千円、△＝減)

科目（内訳）	収入	支出
就労支援事業	3,574	3,807
福祉事業	25,169	26,846
財務	0	608
前期末支払資金残高(繰越金収入)	3,118	0
予備費	—	600
合計	31,861	31,861

(単位：千円の概算計上となりますのでご了承ください。)



フクシ君

工賃の面では、新規作業の拡大など仕事の幅を増やして行き、事業面では研修旅行など交流事業を行います。生活全般の支援を必要とする利用者が多くなり、B型の枠を超えた支援が課題となってきています。

地域で咲かせよう！優しい - 中学生福祉体験学習 -

平成 26 年 5 月、町内の福祉施設のみなさまにご協力いただき、中学 2 年生が福祉体験学習を 3 日間行いました。

この学習では、さまざまな人との出会いをとおして、互いの違いを認めあい、「共に生きる力」を育むことを目的としています。

この体験学習に向け、車椅子・高齢者疑似体験や認知症サポーター養成研修・社協職員による講話の受講など、事前学習を通して福祉について学んできました。

* 本川根中学校 2 年生 *



みどりの丘えまつでの作業体験



介護サービス事業所でのレクリエーション



生徒たちは、初めは緊張していた様子でしたが、徐々に自分で考え、行動できるようになっていきました。

今回の学習での気づきや考えたことを大切に、相手のことを考えて行動すること、地区のお祭りや清掃活動に参加することなど、自分ができることを普段のくらしの中で活かしていきましょう！

夏休み期間中、ボランティア体験等を計画しています。ぜひ参加してくださいね！！

* 中川根中学校 2 年生 *



介護サービス事業所でのレクリエーション



みどりの丘えまつでの作業体験



ご協力いただきました、町内の介護サービス事業所、生きがい対応型デイサービスセンター、障害福祉サービスセンター（計 9 事業所）のみなさま、ありがとうございました。

講座のお知らせ

🌸 ママの目線で考えた家族防災講座 🌸

予告

- 【日 時】平成26年7月28日(月) 10:30~12:00
 【会 場】川根本町健康増進施設(開発センター横)(上長尾627)
 【対 象】妊娠中~小学生の子どもがいるご家族、関心のある方
 【内 容】①東日本大震災の実情 ②震災時に必要な物
 ③赤ちゃんがいる家庭用防災グッズの紹介
 ④家庭で効率よく備蓄品を備える方法
 ⑤仮おむつや臨時ミルクの作り方
 【募集人数】30組程度
 【参加費】無料
 【申込方法】電話、FAX、Eメールにて受け付けます。

託児あり
(1歳以上)
要予約



※この講座は、赤い羽根共同募金の助成を受けて開催します。

『あなたのチカラで、川根本町を守りませんか?』

災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 【日 時】平成26年9月6日(土)・7日(日) 10:00~16:00
 【会 場】川根本町山村開発センター(上長尾627番地)
 【対 象】川根本町在住または在勤・在学、または 災害ボランティア活動に参加経験や
 関心のある方で、2日間参加できる方
 【内 容】①東日本大震災における活動事例 ②災害ボランティアコーディネーターとは
 ③第4次地震被害想定概要 ④避難所運営ゲーム(HUG)
 ⑤災害対応シミュレーションゲーム ⑥災害ボランティア本部運営
 ⑦川根本町社協における災害ボランティアの取り組み
 【募集人数】30名程度
 【参加費】無料(昼食・飲料水は各自ご用意ください。)
 【申込方法】電話及びFAX、窓口で受付
 【修了者】川根本町社会福祉協議会より修了証を発行し、ふじのくに災害ボランティア
 コーディネーター静岡県知事認定証の発行申請をあわせて行う予定です。

【お問い合わせ・申込先】社会福祉法人 川根本町社会福祉協議会

TEL: 0547-59-2315 FAX: 0547-59-4139

Eメール: csw-honk@po2.across.or.jp



みどりの丘・みどりの丘えまつだより

6月1日、四季の里さまのご協力で、みどりの丘・みどりの丘えまつの自主製品（陶芸品など）を販売するイベントを開催しました。日頃、四季の里さまには自主製品を置いていただいておりますが、今回は自分たちで自主製品を販売しました。

机を商工会、テントを役場よりお借りして来て、会場の設営を利用者同士で協力しあい行いました。当日はお天気に恵まれ、テントの中はとても暑くなりましたが、暑さにまけず、一生懸命販売しました。

イベントの開催前には、静岡新聞に掲載していただき、PRも十分にできたこともあり、多くのお客さまが来てくださいました。

また、イベント当日に静岡新聞社・第一テレビの方に取材をしていただき、翌日の静岡新聞にイベントの記事が掲載されるなど、活動のPRもすることができました。

来店してくれたお客さまや、四季の里さまなど、多くの方のご協力を得て、イベントを楽しく行うことができました。ありがとうございました。



販売の様子



陶芸品などの自主製品



みどりの丘・みどりの丘えまつ利用者と四季の里のみなさま

～資源回収へのご協力とお願い～

みどりの丘・みどりの丘えまつでは利用者の工賃となる事業収入のアルミ缶・段ボール・新聞・雑誌を回収しています。ぜひ、ご協力いただきたくお知らせとお願いをさせていただきます。

《ご注意いただくこと》

回収方法・・・お手数ですが、みどりの丘・みどりの丘えまつへお届けください。

運搬が困難な場合にはご連絡ください。

アルミ缶は洗って出してください。（缶の中にタバコなどは入れないでください。軽くつぶしてください）

段ボールは紙のひもで固く縛ってください。（十文字にからめて縛って抜けないようにしてください。）

新聞は広告と一緒に縛っても良いです。（1回で持てる重さにしてください。）

～連絡先～

みどりの丘

住所 川根本町上岸 90 番地

TEL 0547-59-3810

みどりの丘えまつ

住所 川根本町下長尾 169 番地

TEL 0547-56-1733

～介護保険によるサービスを利用するには？～

たとえば、こんなことで困っていたら・・・

親の物忘れがひどくなり
昼間一人で家に居させる
ことが心配になってきた。

からだが弱ってきた一人
暮らしの親が心配だ。



脳卒中で倒れて、手足に
マヒが残り、生活するのが
大変になった。

障害があつて施設に入っ
ていたが、家に帰ってきて生活
したいので手伝ってほしい。



①要介護認定の申請

介護保険によるサービスを利用するには、要介護認定が必要になります。
申請には、介護保険被保険者証が必要です。(40～60歳までの人は医療保険証が必要です。)



②認定調査・主治医意見書

川根本町職員等の調査員が自宅や施設などを訪問し、心身の状態を確認するための調査を行います。主治医意見書は、川根本町が、かかりつけの医師に依頼します。



③審査判定

調査結果や主治医意見書をもとに、全国一律の判定方法で要介護度の判定が行われます。その結果と主治医意見書にもとづき、介護認定審査会による要介護度の判定がおこなわれます。



④認定

川根本町は、介護認定審査会の判定結果にもとづき要介護認定を行い、申請者に結果を報告します。申請から認定の通知までは原則 30 日以内におこないます。



⑤介護（介護予防）サービス計画書の作成

介護（介護予防）サービスを利用する場合は、介護（介護予防）サービス計画書（ケアプラン）の作成が必要となります。「要支援 1・2」の計画書は地域包括支援センターに、「要介護 1」以上の計画書は介護支援専門員のいる居宅介護支援事業者へ依頼をします。



⑥介護サービス利用の開始

介護サービス計画にもとづいた、さまざまなサービスが利用できます。

平成25年度 (福)川根本町社会福祉協議会 会費納入の御礼



フクシ君

このたびは、本会会費の納入方にあたり、町民のみなさまをはじめとした町内企業さま、福祉関係者のみなさまに過分なるご協力をいただき、まことにありがとうございました。

みなさまからご協力いただきました会費（寄付金）については、本会における地域福祉活動（介護保険事業を除く）の貴重な財源として、全額活用させていただいております。

については、平成 25 年度の納入実績を、下記のとおりご報告させていただきます。

☆納入実績額☆ 1,717,000円

1 普通会費・・・町内各世帯を対象に 1 世帯年額 500 円にてご依頼

ご協力世帯数	2,737 世帯	納入金額	1,368,500 円
--------	----------	------	-------------

※川根本町全地区の皆様よりご協力いただきました。

2 賛助会費・・・民生児童委員、主任児童委員、本会理事・評議員の皆様を対象に 1 口 1,000 円にてご依頼

ご協力件数	64 人	納入金額	82,000 円
-------	------	------	----------

3 特別会費・・・町内企業・法人・団体の皆様を対象に 1 口 1,000 円にてご依頼

ご協力件数	89 先	納入金額	266,500 円
-------	------	------	-----------

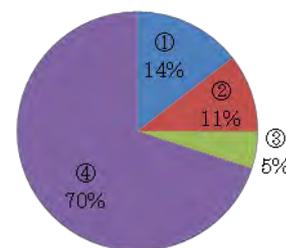
平成25年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金使途報告

平成 25 年度も、みなさまより赤い羽根共同募金（一般募金）に 1,336,019 円、歳末たすけあい募金に 1,273,563 円のあたたかいご寄付が寄せられました。ご協力、まことにありがとうございました。

下記のとおり、事業を実施いたしましたので、ご報告させていただきます。

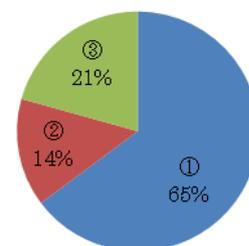
赤い羽根共同募金（一般募金）助成事業（総事業費 1,795,532 円）

区分	事業名
① 高齢者	サロン活動事業費助成事業、レクリエーション等貸出用備品整備事業
②障がい児・者	民生委員児童委員協議会と施設通所者との交流事業、知的障がい者交流事業
③児童・青少年	民生委員児童委員協議会と小学生との交流事業
④住民全般	地域福祉活動調査事業、社協広報紙発行事業、福祉講座開催事業、地域福祉活動推進事業、ふれあい広場開催事業、ボランティア活動視察研修助成事業、災害ボランティアコーディネーター支援事業、災害ボランティアセンター整備事業



歳末たすけあい募金助成事業（総事業費 629,590 円）

区分	事業名
① 高齢者	独居高齢者に対する友愛訪問事業、独居高齢者交流事業（日赤ふれあいのつどい）
②障がい児・者	在宅障がい者に対する友愛訪問事業
③住民全般	低所得世帯に対する友愛訪問事業



※募金額との差額 643,973 円は、平成 26 年度川根本町社会福祉協議会の地域福祉事業費として助成されます。

平成25年度 川根本町社会福祉協議会事業報告

「川根本町地域福祉活動計画」(平成21～25年度)及び平成25年度事業計画に基づき、町民のみなさまの積極的な理解と協力を得、更に関係機関や各種団体と連携をして、地域・在宅福祉活動の展開と「地域福祉の拠点づくり」を目指しました。概要については、次のとおり報告いたします。

◆会員数

- * 普通会員 2,737 世帯 (年額 500 円) (H24 年度 2,767 世帯)
- * 賛助会員 64 人 (1 口 1,000 円) (H24 年度 64 人)
- * 特別会員 89 先 (1 口 1,000 円) (H24 年度 96 先)

◆会議の開催

- * 社会福祉協議会理事会 (7 回)
- * 社会福祉協議会評議員会 (3 回)
- * 社協監事による社会福祉協議会会計監査会 (2 回)
- * 県による市町社会福祉協議会一般指導監査 (1 回)
- * 社会福祉協議会運営会議 (12 回)



◆地域福祉啓発活動の推進

- * 事務所機能の統合 (川根本町福祉センターを本所へ)
- * 職員予定管理ソフト (デスクネット NEO) の導入
- * 広報紙の発行 (年 3 回、全世帯配付、窓口配付)
- * ホームページの運営
- * 第 3 回川根本町社会福祉大会 (H26.3/26)
- * ふれあい・いきいきサロン育成事業 (町内 28 地区)
- * 善意銀行の運営 (寄付金 12 件、寄付物品 12 件)
- * 共同募金配分金事業の実施
- * 福祉総合相談事業 (取扱件数 294 件)
- * 相談対応向上講座の開催 (19 名)
- * 相談対応基礎講座の開催 (39 名)
- * 職員研修事業の開催 (8 回)
- * 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業・貸付件数 1 件)
- * 小口資金貸付事業 (取扱件数 3 件)
- * 福祉サービス利用援助事業 (県社協受託事業・契約件数 4 件)
- * 本川根福祉センター指定管理業務 (地域福祉センター)
- * 福祉体験学習事業の実施
- * 福祉教育推進連絡会の開催 (16 名)
- * 出前講座の実施 (延 23 回/4 校)
- * 福祉講座の開催 (16 組 27 名)
- * 夏休み親子福祉体験 (2 組 4 名)
- * 社会福祉関係団体の育成指導、活動支援
(町いきいきクラブ 連合会、町民生委員児童委員協議会、町遺族会、町身体障害者福祉会)
- * 共同募金及び歳末たすけあい募金運動の実施

◆ボランティア活動の推進

- * ボランティアの育成指導及び連絡調整
- * ボランティア活動者の受入 (延 572 名) (H24 年度 362 名)
- * 福祉ボランティア体験事業 (延 5 名)
- * ボランティア会議の開催 (町ボランティア連絡会・1 回)
- * ボランティア養成講座 (2 回/延 26 名)
- * 話し相手ボランティア活動 (利用者延 61 名、活動者 10 名)
- * 話し相手ボランティア養成講座 (参加者 24 名)
- * メイクアップボランティア養成講座の開催 (参加者 9 名)
- * 託児ボランティア養成講座の開催 (参加者 14 名)
- * 災害ボランティア講座講演会 (延 83 名)
- * 災害ボランティアコーディネーター養成講座 (修了者 8 名)
- * 大阪府立大学生との交流事業
- * 災害支援関係 (西伊豆町災害ボランティア支援)

◆介護保険事業 (介護予防を含む)

- * 居宅介護支援事業所 (1 事業所)
年間利用実人員 164 名 (H24 年度 202 名)
- * 訪問介護事業所 (1 事業所)
年間利用実人員 73 名 (H24 年度 65 名)
- * 通所介護事業所 (2 事業所)
年間利用実人員 163 名 (H24 年度 166 名)
日曜日通所介護の開設
日常生活動作機能訓練



◆在宅福祉活動事業

- * 生きがい対応型デイサービスセンター管理運営事業 (委託事業)
実人員 95 名 (H24 年度 107 名)
- * 障害福祉サービス居宅介護事業 (1 事業所)
実利用人員 2 名 (H24 年度 3 名)
- * 福祉車両貸出事業
実人員 59 名 (H24 年度 16 名・1 施設)
延利用回数 59 回 (H24 年度 56 回)
- * 就労継続支援 B 型事業所の運営 (みどりの丘、みどりの丘えまつ)
登録人員 24 名 (H24 年度 24 名)
社会体験学習、一泊研修旅行の実施
福祉大会記念品共同陶芸作業



介護保険事業	183,125	205,129	22,004	189,750	169,846	△19,904
訪問介護事業	18,008	19,340	1,332	21,555	17,590	△3,965
訪問入浴介護事業	0	0	0	0	0	0
通所介護事業	※ 140,117	※ 163,273	23,156	☆ 142,100	☆ 130,157	△11,943
福祉用具貸与事業	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	※ 25,000	※ 22,516	△2,484	☆ 26,095	☆ 22,099	△3,996
法人運営事業	※ 44,050	※ 42,702	△1,348	☆ 36,227	☆ 33,249	△2,978
経理区分間繰入金	9,633	806	△8,827	9,633	806	△8,827
経常活動計	289,856	296,792(1)	6,936	292,752	251,732(2)	△41,020

◇資金収支計算書<施設整備等・財務活動>

収入の部 (単位：千円)

科目 (内訳)	予算額	決算額	増減
施設整備等収入計(3)	0	0	0
積立預金取崩収入	0	0	0
その他の収入	※ 0	※ 0	0
財務収入計(5)	0	0	0
前期末支払資金残高(7)	14,973	49,581	34,608

収入総額 (1)+(3)+(5)+(7)	304,829	346,373	41,544
-------------------------	---------	---------	--------

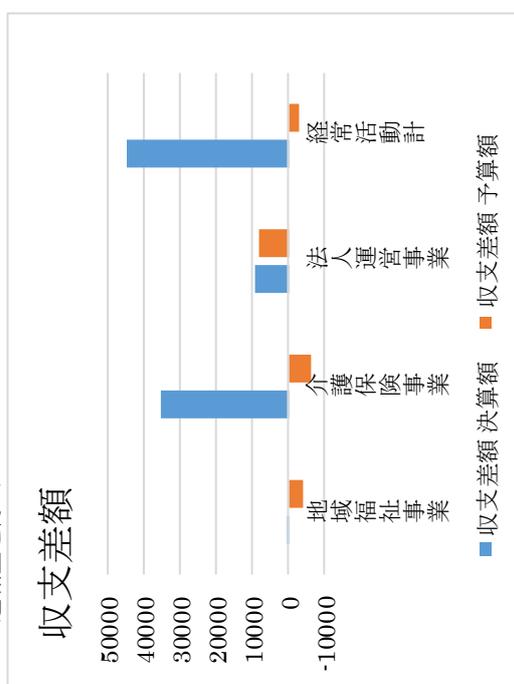
※退職共済預け金差益、退職共済預け金返還金収入を除く
(単位：千円の概算計上となりますので、ご了承願います。)

支出の部 (単位：千円)

科目 (内訳)	予算額	決算額	増減
施設整備等支出計(4)	479	229	△250
基金積立預金積立支出	1	0	△1
積立預金積立支出	100	16	△84
その他の支出	7,407	6,581	△826
財務支出計(6)	7,508	6,597	△911
予備費(8)	4,090	0	△4,090

支出総額 (2)+(4)+(6)+(8)	304,829	258,558	△46,271
-------------------------	---------	---------	---------

☆退職金を除く

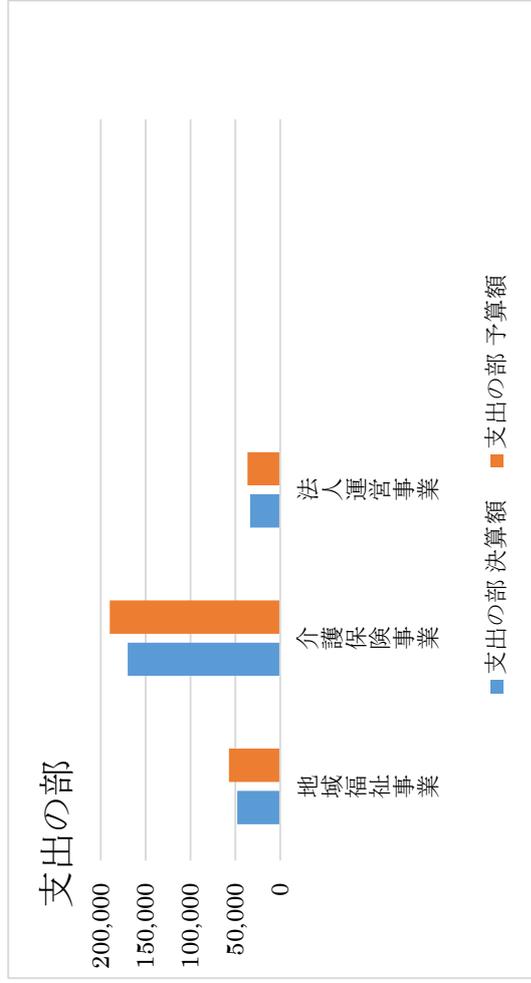
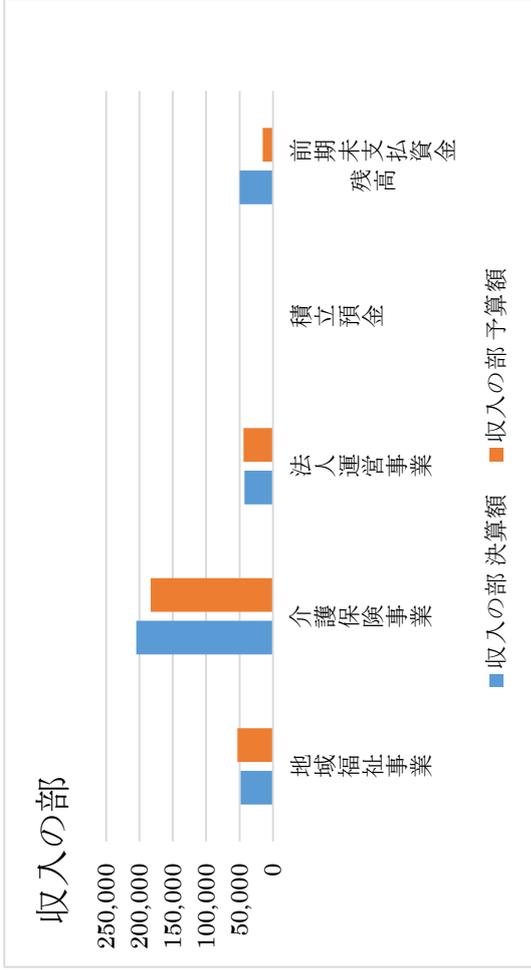


平成 25 年度一般会計経常活動費の当初予算額は収入 289,856 千円に対して支出 292,752 千円であり、3,000 千円の赤字を予想していましたが、決算額は収入 296,792 千円に対して支出 251,732 千円であり、45,060 千円の黒字に転じました。

黒字となった主な要因としては、介護保険事業における稼働日数(日曜、祝日営業)の増加と利用実績の増加に伴う収入増、竹製品共同製作事業(特別会計)から一般会計への資金移管による収入増に加え、正規職員数の減に伴う人件費支出の減額や事務費・事業費においての経費節約努力による減額、また地域福祉活動計画策定事業の延期による支出の減額があげられます。

平成25年度 川根本町社会福祉協議会決算報告（一般会計）

(13)



◇資金収支計算書<経常活動>

(単位：千円、△=減)

科目 (内訳)	収入の部		増減	支出の部		増減
	予算額	決算額		予算額	決算額	
地域福祉事業	53,048	48,155	△4,893	57,142	47,831	△9,311
地域福祉事業	1,013	949	△64	1,335	1,260	△75
助成事業	10,003	8,492	△1,511	10,534	8,799	△1,735
調査・研究事業	—	—	—	3,422	1	△3,421
共同募金配分金事業	2,989	2,424	△565	3,000	2,425	△575
居宅介護等事業	—	—	—	235	170	△65
福祉サービス利用援助事業	532	4,554	△58	532	471	△61
障害福祉サービス本川根居宅介護事業	644	846	202	644	171	△473
生きがい活動支援通所事業	32,362	29,803	△2,559	31,755	29,262	△2,493
福祉外-受託運営事業	4,198	4,149	△49	4,378	4,254	△124
福祉総合相談事業	1,307	1,018	△289	1,307	1,018	△289

平成25年度「話し相手ボランティア養成講座」を開催しました！

平成26年2月5日より毎週水曜日、5回に渡り、話し相手ボランティア養成講座を開催しました。川根本町山村開発センターおよび、川根本町役場本庁舎において講座を行い、24名が参加しました。

本講座は、さまざまな理由で外出することが困難である人が話し相手を求めている場合に、その方の自宅へ訪問し、話し相手となる活動を行うボランティアを養成します。養成講座修了後は、必要に応じて、実際に話し相手となる活動を行っていただいています。

埼玉県所沢市より、各地で話し相手ボランティア養成講座の講師をされている方を招き、講義やグループワークなどをおし、話し相手ボランティアの基礎を学びました。講座では、参加された多くの方から、話し相手ボランティア活動をする上で必要とされる、話を聞く姿勢や、話し方などについて多くの質問が出されるなど、積極的な姿勢がうかがえました。



養成講座開催中の様子(山村開発センター)



講座開催中の様子(役場本庁舎)



修了証授与の様子(役場本庁舎)

平成26年度「話し相手ボランティアステップアップ講座」を開催しました！

平成26年4月21日に川根本町山村開発センターにおいて、平成23年度から平成25年度までの間に川根本町で行った、話し相手ボランティア養成講座の修了者を対象とした「話し相手ボランティアステップアップ講座」を開催しました。川根本町地域包括支援センターと共に開催し18名が参加しました。

話し相手ボランティア養成講座と同様、講師を招き、話し相手ボランティア活動をする上での疑問点や、不安なことなどについて講義を行いました。また、実際に活動されている方から、活動の様子を聞くことにより、今後活動を希望されている方々の意欲をより高めることができました。



話し相手ボランティア活動中の様子



養成講座開催中の様子(山村開発センター)

平成26年度 川根本町社会福祉協議会事業計画

基本目標 安心安全の支えあいの地域づくり

助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進

* 地域の子育て支援活動の推進

- ・ 託児ボランティアの育成と活用

* 高齢者の生きがい支援の充実

- ・ ふれあい・いきいきサロンの推進
- ・ 事業助成金の交付

* 当事者の組織化と福祉関係団体への支援

- ・ 福祉関係団体の自立的運営への支援

* 地域生活支援の推進

- ・ 民生委員児童委員の活動強化
- ・ 地域生活を継続するための経済的支援の促進
(生活福祉資金・小口資金・高額療養費の利用促進)
- ・ 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の推進

ボランティア活動への参加の促進

* ボランティア活動の場づくり

- ・ 登録ボランティア(団体・個人)制度の強化

* ボランティアの情報提供・広報啓発・情報交換の充実

- ・ ボランティアの情報提供、広報啓発、情報交換の充実
- ・ 川根本町ボランティア連絡会活動の推進と情報紙の発行

* ボランティアの養成

- ・ ボランティア養成講座の開催
- ・ 話し相手ボランティア養成講座の開催
(共催:町地域包括支援センター)

* ボランティアセンター機能の構築

- ・ ボランティア相談窓口の充実
- ・ ボランティア保険の加入促進
- ・ 災害ボランティア受入れ体制の整備
(災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施等)

福祉の理解と関心を高める福祉教育の推進

* 福祉の理解と知識を深めるための福祉教育の推進

- ・ 出前講座の実施

* 学校・地域・家庭が一体となった福祉教育の推進

- ・ 学校における福祉教育の推進
- ・ 家庭や地域における福祉教育の推進
- ・ 企業における福祉教育の推進
- ・ 福祉関係機関、その他連携が考えられる機関との体制整備
- ・ 社会福祉協議会における福祉教育の体制整備



福祉の情報提供・相談・ニーズ把握体制の構築

* 福祉の情報提供の充実

- ・ かわねほんちょう社協だよりの充実・社協の広報、事業紹介パンフレットの配布・インターネットを活用した情報提供

* 総合相談体制の確立

- ・ 福祉総合相談、よろず相談、無料弁護士相談の充実
- ・ 相談員の相談技法向上講座の開催

* 住民の福祉ニーズの把握

- ・ 必要に応じた住民福祉ニーズ調査の実施



福祉サービスの充実

* 介護予防・生活支援サービスの充実

- ・ 軽度生活援助事業、生きがい活動支援通所事業の充実
- ・ 福祉車両貸出事業の実施 ・生活サポート事業の実施

* 介護保険サービス及び介護予防サービスの充実

- ・ サービス全体の充実
- ・ 居宅介護支援サービスの充実(相談業務24時間対応可能)
- ・ 訪問介護、通所介護サービスの充実(日曜日業務の実施)

* 障がい者福祉サービスの充実

- ・ 障がい福祉サービス事業就労継続支援B型(みどりの丘・みどりの丘えまつ)障がい福祉サービス事業居宅介護の充実
- ・ 工賃増加、新規作業
- ・ 銭太鼓の発表
- ・ 地域の人達とのふれあい
- ・ 川根本町生活サポート事業への対応

* ケアマネジメント体制の強化

- ・ 関係機関、団体との連携強化
- ・ ケース検討会、研究会への参加

社会福祉協議会の発展・強化

* 社会福祉協議会運営・経営体制の基盤強化

- ・ 運営、経営体制の強化
- ・ 職員の意識改革による責任意識と業務意欲の向上の喚起
- ・ 第2次川根本町地域福祉活動計画の策定
- ・ 運営、経営に関する諸制度の見直しによる体制基盤の強化
- ・ 監査体制の強化 ・社会福祉法人新会計基準の導入準備
- ・ 指定管理者制度による町施設の指定管理の強化

* 財政基盤の強化

- ・ 住民サービスの充実による収入増を図る
- ・ 公的財源、民間財源の確保

* サービス苦情受付、苦情解決、個人情報保護体制の整備

- ・ 苦情受付、苦情解決体制の整備 ・個人情報保護体制の強化

* 事務局体制の強化

- ・ 業務効率の向上 ・職員のスキルアップと質の向上

介護保険事業	181,800	183,125	△1,325	179,120	190,441	△11,321
訪問介護事業	19,022	18,008	1,014	21,552	21,555	△3
訪問入浴介護事業	0	0	0	0	0	0
通所介護事業	139,798	※ 140,117	△319	139,410	☆ 142,791	△3,381
福祉用具貸与事業	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	22,980	※ 25,000	△2,020	18,158	☆ 26,095	△7,937
法人運営事業	3,5104	※ 44,050	△8,946	41,311	☆ 33,817	7,494
経理区分間繰入金	12,619	9,297	3,322	12,619	9,297	3,322
経常活動計	(1)282,682	289,520	△6,838	(2)290,225	290,760	△535

◇資金収支計算書<施設整備等・財務活動>

科目 (収入内訳)	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減
施設整備等収入計(3)	0	0	0
積立預金取崩収入	0	9,655	△9,655
その他の収入	0	※ 0	0
財務収入計(5)	0	9,655	△9,655
前期末支払資金残高(7)	19,434	5,318	14,116

収入総額 (1)+(3)+(5)+(7)	302,116	304,493	△2,377
-------------------------	---------	---------	--------

※退職共済預け金差益、退職共済預け金返還金収入を除く

科目 (事業別内訳)	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減
施設整備等支出計(4)	134	0	134
基金積立預金積立支出	1	1	0
積立預金積立支出	100	100	0
その他の支出	5,578	6,832	△1,254
財務支出計(6)	5,679	6,933	△1,254
予備費(8)	6,078	6,800	△722

支出総額 (2)+(4)+(6)+(8)	302,116	304,493	△2,377
-------------------------	---------	---------	--------

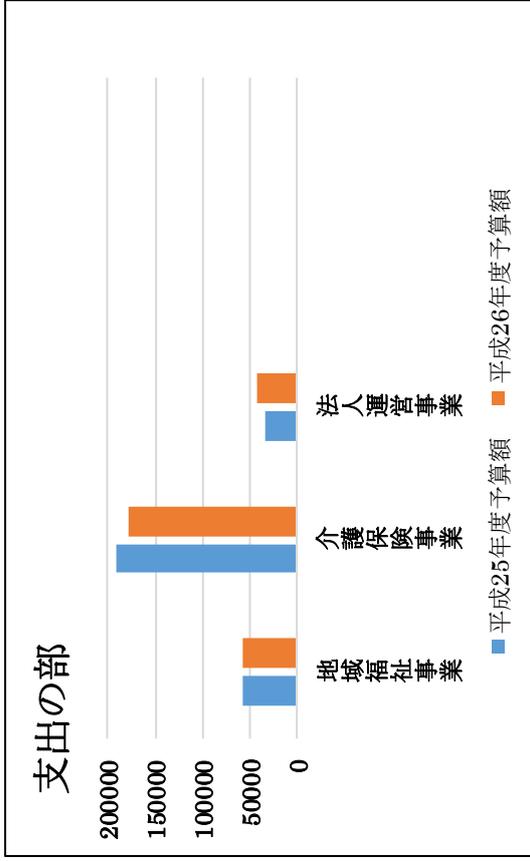
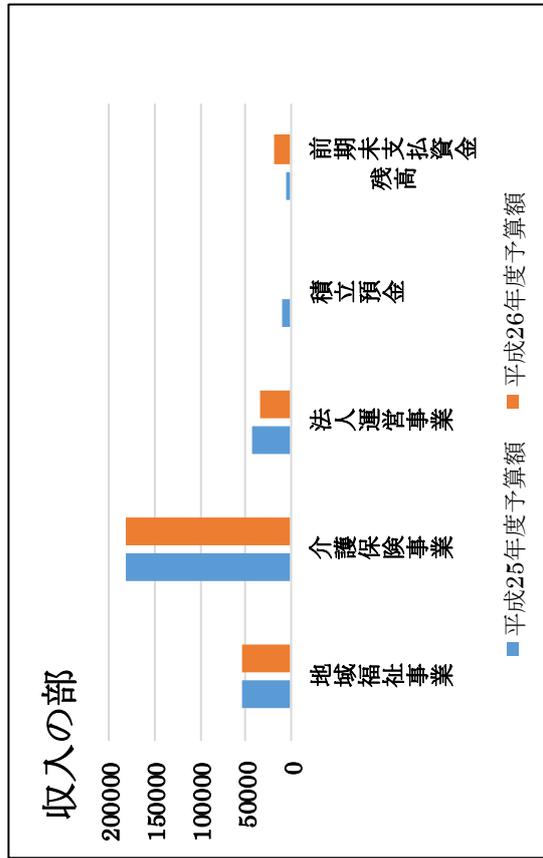
☆退職金を除く

平成26年度の収入について、介護保険事業は、訪問介護において、利用回数の増による増収を見込んでおりますが、通所介護・居宅介護支援において利用者減による減収を見込んだため、介護保険事業全体としては、13,000千円の減収計上となっております。法人運営事業は、委託事業の増加とそれに伴う職員増員により委託費の増収を見込んでおりますが、予算対比としては、前年度予算収入に含まれていた竹製品共同製作事業の事業移譲に伴う繰入金収入の10,000千円が26年度はありまませんので、前年対比8百万円の減収という形になります。

また、支出については、介護保険事業において、正規職員減に伴う人件費の減額等により前年度対比11百万円の減額、法人運営事業においては、職員増に伴う人件費の増により前年度対比3百万円の増額を見込んでいます。収支が改善され、積立預金の取崩の予算計上はしておりません。予算総額は302,116千円で、前年度対比2,377千円の減額となりました。

平成26年度 川根本町社会福祉協議会予算（一般会計）

(17)



◇資金収支計算書〈経常活動〉

(単位：千円、△＝減)

科目（内訳）	収入の部		増減	支出の部		増減
	平成26年度予算額	平成25年度予算額		平成26年度予算額	平成25年度予算額	
地域福祉事業	53,159	53,048	111	57,175	57,205	△30
地域福祉事業	757	1,013	△256	757	1,335	△578
助成事業	8,667	10,003	△1,336	9,198	10,534	△1,336
調査・研究事業	0	0	0	3,205	3,422	△217
共同募金配分金事業	2,766	2,989	△223	2,770	3,000	△230
居宅介護等事業	0	0	0	114	235	△121
福祉サービス利用援助事業	414	532	△118	414	532	△118
障害福祉サービス本川根居宅介護事業	751	644	107	751	644	107
生きがい活動支援通所事業	33,845	32,362	1,483	33,904	31,818	2,086
福祉ケア-受託運営事業	4,804	4,198	606	4,806	4,378	428
福祉総合相談事業	1,155	1,307	152	1,256	1,307	△51

社協

出前講座 ~あなたのところへうかがいます~

社協では、社協職員が学校や地域に出向いて、福祉に関する講話や体験を行う、「出前講座」を行っています。

この出前講座は、人との触れ合いをとおして、「共に生きる力」を育むことが目的です。

学校はもちろん、職場、生涯学習、ふれあい・いきいきサロン、

ボランティア活動での学習などに、ぜひご活用ください！

くわしくは、社協までお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

川根本町社会福祉協議会（電話0547-59-2315）



各相談所開設のお知らせ (平成26年7月~9月)

相談名	時間	担当相談員	会場/日程	
			文化会館 (小長井)	生活改善センター (高郷)
よろず相談	9:00~11:30	民生委員 児童委員	7月9日(水) 9月10日(水)	8月20日(水)
よろず行政相談	9:00~11:30	民生委員 児童委員 行政相談員	8月6日(水) ※会場は福祉センターです。	7月16日(水) 9月17日(水)
法律相談要予約	10:00~15:00	弁護士	8月27日(水) ※会場は福祉センターです。	9月24日(水)



※担当相談員がみなさまの相談に応じ、秘密厳守のもと問題解決に努めます。

※いずれの相談も無料です。

善意銀行 ♪心あたたまる善意をありがとうございます♪

平成 26 年 6 月 2 0 日 現在、順不同

【寄付金の部】

- * 匿名 様
- * 上岸区 森田 愛子 様

【寄付物品の部】

- * 東藤川 さわんどクラブ 様
- * 静岡市 杉山 孝枝 様
- * 地名区 山下 とし子 様

